

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社三井E&S		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒104-8439 東京都中央区築地五丁目6番4号	
本票作成	部署名：人事総務部 玉野総合事務所 施設グループ				
主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業		
事業の概要	船舶機関製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉野事業所		岡山県玉野市玉三丁目1番1号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度(令和5年度)	(令和6)年度排出量	目標年度(令和9年度)
排出量	71,852 t CO ₂	70,886 t CO ₂	69,000 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和6)年度排出量
	①	玉野事業所	70,886 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：令和6年度～令和9年度(4箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△1.9%	4.0%	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量		
			基準年度	(6)年度	目標年度
	基準年度：71,852tCO ₂ /1.9178百億円		37,466	38,164	36,000
	R6年度：70,886tCO ₂ /1.8574百億円		t CO ₂ /(百億円)	t CO ₂ /(百億円)	t CO ₂ /(百億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和6年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

令和6年度のCO₂排出量は、LPG機関の生産台数減少に伴い、前年度と比較してA重油の使用量が約4.8%、LPGの使用量が約54.8%減少したことで約1.3%の削減ができていますが、LNGの使用量が約28%増加しており、これがCO₂排出量の削減効果を相殺する要因となっています。また、生産高がCO₂排出量に比例せずに約3.1%減少したのに対し、CO₂排出量の削減幅は約1.3%に留まったため、原単位あたりの排出量は基準年度より約1.9%増加しました。今後、主力製品である船用ディーゼルエンジンの生産量は増加傾向にあり、燃料ガスの使用量を大幅に削減することは困難です。そのため、CO₂排出係数がゼロのフリー電力の採用を積極的に進めることで、CO₂排出量の削減を図り、原単位あたり排出量の改善につなげていく必要があると考えます。

【推進体制】

1. 2000年10月（三井造船㈱玉野事業所当時）に取得したISO14001に基づき、事業所長をトップとした環境管理体制を確立。
2. 省エネ法に基づき、エネルギー管理統括責任者を中心としてエネルギー管理標準を策定し全所で運用。
3. 全所で電力調整会議を夏季と冬季に定例開催して、生産調整をし電力使用量の平準化を実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
玉野事業所	<p>(令和6年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電力使用量の削減 2. 操業度増減に伴い過大な変圧器を切り離し、無負荷損失の防止 3. 新施設建設時及び既存照明器具代替時は、LED照明を採用 4. 新施設建設時及び既存空調設備代替時は、省エネ型空調設備を採用 5. 省エネ型溶接機に代替 6. 蛍光灯をLEDへ代替（309基） <p>(今後実施予定分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電力使用量の削減 2. 操業度増減に伴い過大な変圧器を切り離し、無負荷損失の防止 3. 新施設建設時及び既存照明器具代替時は、LED照明を採用 4. 新施設建設時及び既存空調設備代替時は、省エネ型空調設備を採用 5. 潤滑油清浄機のメンテナンスを定常化し、故障前に点検整備を行うことで、フラッシング時間の短縮と効率低下を防止し状態維持を行う。 6. 省エネ型溶接機に代替 7. 重機A棟No. 3高温冷却水ポンプの更新に伴いインバーター制御に変更する。電流値を必要最低限にして運転できる為、電力の効率化に寄与できる。 8. 工場内の照明を蛍光灯からLEDへ代替 9. 工場エア供給圧力を適正圧力で維持するための適正台数運転を実施する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	有	工場立地法に基づき、緑地面積率28.3%(基準20%以上)、環境施設面積率31.7%(基準25%以上)を確保。今後も株式会社三井E&S 玉野事業所として緑化に努め、緑地確保に配慮する。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

1. 冷暖房設備の使用電力低減のためクールビズ（5月～10月）、ウォームビズ（11月～4月）運動を実施。
2. 事業所構内へ入場する全車両に対して、アイドリングストップの啓発及び啓発ビラ配布等の実施。
3. 老朽社有車の代替時に低燃費・低公害車への代替検討及び実施。
4. 休日・夜間等における局所的な使用電力の対応に小型発電機を有効利用。
5. 客先への省エネ機器の搭載を提言・実施。
6. 温室効果ガスの排出量削減を目指し、アンモニア・水素を燃料とした船用推進システムの研究開発及び実証実験に取り組むとともに、世界初のアンモニア焚き大型低速二元燃料エンジン及び燃料供給装置商用機の試験運転開始している。
7. 温室効果ガスを大幅に削減できるグリーンメタノールが船舶燃料として普及することが期待されることから、国際貨運の脱炭素化に向けて、近年メタノール焚き二元燃料エンジンの船舶への採用が増加しており、当社では今後の市場における需要増大に応えるべく、メタノール焚き二元燃料エンジン用の運転設備の整備を行っている。